

# 平成28年度（平成27年度実施分）個別施策評価シート

## ① 建設産業委員会

|          |  |
|----------|--|
| 評価する個別施策 | <b>廃棄物の適正処理</b><br>・ごみの減量化・資源化等を進めて一般廃棄物最終処分場の延命化を図ります。<br>・産業廃棄物の適正処理について、関係機関と連携して指導監視に努めるとともに不法投棄の未然防止に努めます。<br>・生し尿及び浄化槽汚泥は、中部知多衛生組合で適切に処理します。 |
|----------|--|

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

| 評価項目                      | 評価基準   |        |     | 判断理由・評価コメント  |  |
|---------------------------|--|--------|-----|--|--|
|                           | 点数   | チェック   | 評価点 |  |  |
| 個別施策の実現に向けて順調か            | 概ね順調   | 76~100 |     | 55   | <b>「順調に進んでいる点」</b><br>ごみ排出量の減少、クリーンセンター内でのごみ処理、既設ごみステーションの維持管理、ごみ処理施設の補修                                     |
|                           | どちらかといえば順調   | 51~75  | ○   |  | <b>「遅れている点」</b><br>有価資源ごみの回収、ごみステーションの適切な設置（既存集合住宅・新規戸建住宅）、発火性危険ごみの適切な出し方の周知、不法投棄の指導監視、事業系ごみの適切な排出（家庭ごみとの区別） |
|                           | どちらかといえば遅れている  | 26~50  |     |  | <b>「その他コメント」</b><br>ごみの減量・資源化・不法投棄に対する市民の意識と市の目指す姿が乖離している。   |
|                           | 遅れている  | 0~25   |     |  |  |
| 構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か | 個別施策実現のために必要な内容が不足していないか   |        |     | 不足している。<br>市民・事業者のごみの減量・資源化・不法投棄に対する意識が低い<br>ため。   |  |
|                           | 無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）  |        |     | ある。<br>移動型不法投棄監視カメラについては、効果が感じられず、見直す必要がある。  |  |
|                           | その他コメント  |        |     | 不法投棄（目標値85台）を前提とした家電リサイクル適正化事業は本来の目的とかけ離れていないか。  |  |
| 施策の今後の方向                  | 注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）                             |        |     | ・不法投棄の削減（捨てられにくい環境整備）<br>・事業系ごみが一般ごみとして出されている実態の把握と事業者への指導<br>・発火性危険ごみの排出方法の周知徹底<br>・学校区や自治区毎のごみ排出量の「見える化」による、市民への意識啓発 |  |
|                           | 追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）   |        |     | ・「見られているという意識」を市民に抱かせるため、ごみGメン（仮称）によるごみの抜き打ち調査の実施と周知。  |  |
|                           | 廃止すべき事業・内容はあるか   |        |     | ・移動型不法投棄監視カメラでは不法投棄の抑止に繋がらず、効果がないため、廃止すべき。   |  |
|                           | その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）  |        |     | ・24時間受け入れの民間業者が増えてきた中で、市民による有価資源回収とその報償制度の仕組みを見直す必要がある。  |  |
| その他コメント                   | 「市民一人あたりのごみの量と資源回収量＝半田市民の質」<br>今後の広域でのごみ処理を見据え、前例踏襲ではなく、劇的な変化や結果が表れる事業を行う事を切に願う。 |        |     |  |  |

# 平成28年度（平成27年度実施分）個別施策評価シート

## ② 建設産業委員会

|          |   |
|----------|---|
| 評価する個別施策 | <b>知多半田駅前土地区画整理事業の早期完了</b><br>・ 中心市街地の再生のため、事業の早期完了を図ります。 |
|----------|---|

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

| 評価項目                      | 評価基準  |        |     | 判断理由・評価コメント |  |
|---------------------------|---|--------|-----|-------------|--|
|                           | 点数  | チェック   | 評価点 |             |  |
| 個別施策の実現に向けて順調か            | 概ね順調  | 76～100 |     | 26          | 「順調に進んでいる点」<br>平成27年度をもつての事業の完了、道路・公園・宅地等のハード面での安全・安心の確保、一定の人口回復                                   |
|                           | どちらかといえば順調  | 51～75  |     |             | 「遅れている点」<br>事業完了したにも関わらず、未利用地が26%もあること。  |
|                           | どちらかといえば遅れている   | 26～50  | ○   |             | 「その他コメント」<br>完了した事業ではあるが、今後を見据えた総括的な評価を行うため、評価対象として選定した。   |
|                           | 遅れている   | 0～25   |     |             |  |
| 構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か | 個別施策実現のために必要な内容が不足していないか  |        |     |             | 不足している。<br>都市基盤の整備は図られたが、時代や経済の変化を素直に受け入れ、目的にあった事業計画がなされていなかった。<br>クラシティの再生も含めた、集客店舗の誘致もなされていなかった。 |
|                           | 無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）   |        |     |             | 無し   |
|                           | その他コメント   |        |     |             | 時代の変化を受け入れず、30年以上前の計画の見直しを行わず事業を進めたことにより、中心商業地を結果的に分散させた事実を忘れてはいけない。                               |
| 施策の今後の方向                  | 注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）                            |        |     |             | ・ 未利用地の利用促進・商業施設の誘致（減免措置や施設整備補助等、出店しやすい環境整備）<br>・ 賑わいの創出（利用者増が見込まれる公共床の積極的な有効活用）                   |
|                           | 追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）  |        |     |             | ・ 市民ニーズに合わせた駅周辺の施設整備（駅東側の南北交通の利便性向上、ロータリー場所への平面駐車場の整備、自家用車の乗降場所の整備）                                |
|                           | 廃止すべき事業・内容はあるか  |        |     |             | 無し   |
|                           | その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）   |        |     |             | ・ 事業は完了し半田市としての総括はされているが、当初の目的を達成できたとは言えず、JR半田駅前土地区画整理事業等に活かす仕組みづくりが必要である。                         |
| その他コメント                   | 知多半田駅前には観光施策に力を入れている半田の表玄関であるため、来半者や市民が集える中心商業地の再生を目指し、担当部署を超えて事業を進めていくことを切に望む。 |        |     |             |  |

# 平成28年度（平成27年度実施分）個別施策評価シート

## ③ 建設産業委員会

|          |  |
|----------|--|
| 評価する個別施策 | <p><b>安心して利用できる道づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活に密着した道路の整備を推進し、災害時の避難経路や緊急車両の円滑な通行を確保します。</li> <li>建築行為等に伴う道路後退用地の取得を進めます。</li> </ul> |
|----------|--|

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

| 評価項目                      | 評価基準   |        |     | 判断理由・評価コメント |   |
|---------------------------|--|--------|-----|-------------|---|
|                           | 点数   | チェック   | 評価点 |             |   |
| 個別施策の実現に向けて順調か            | 概ね順調   | 76～100 |     | 40          | 「順調に進んでいる点」<br>マイレポはんだによる通報への対応、法定通学路の安全確保  |
|                           | どちらかといえば順調   | 51～75  |     |             | 「遅れている点」<br>道路管理瑕疵の防止、事後対応的な道路修繕  |
|                           | どちらかといえば遅れている  | 26～50  | ○   |             | 「その他コメント」<br>マイレポはんだの対応に追われている現在の事後対応的な修繕では、道路管理瑕疵をゼロにすることはできない。  |
|                           | 遅れている  | 0～25   |     |             |   |
| 構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か | 個別施策実現のために必要な内容が不足していないか   |        |     |             | 不足している。<br>歩道の雑草等の除去など、言われてからやる体制、自らが道路の危険箇所等の問題を見つけにくい体制。  |
|                           | 無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）  |        |     |             | ある。<br>道路の危険箇所等の問題を見つけるには、職員による自動車での道路パトロールでは十分ではなく、方法を見直す必要がある。  |
|                           | その他コメント  |        |     |             | 現在の事後対応的な修繕では、市長の目指す「攻め」の道路維持管理は実現できない。   |
| 施策の今後の方向                  | 注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）                                     |        |     |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>マイレポはんだの通報に合わせた、処理体制の確立（ICTを活用した修繕までの仕組み）</li> <li>子どもの安心、安全のために、法定通学路整備率100%の早期実現に向けた予算措置</li> <li>歩道の確保のために主要道路だけではなく、歩行者の多い狭あい道路のカラー化が必要。</li> </ul>          |
|                           | 追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）   |        |     |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>苦情通報ツールとしてではなく、マイレポはんだの本来の市民協働ツールとしての発展が必要。</li> <li>日常の中で道路状況を注視するなど、全職員が当事者意識を持って道路維持管理を行う仕組みが必要</li> <li>道路の安全、安心監視月間を設けるなど、市民が率先して行えるような啓発や仕組みが必要</li> </ul> |
|                           | 廃止すべき事業・内容はあるか   |        |     |             | 自動車による道路パトロールでは、道路の危険箇所の十分な発見はできないため、廃止すべき。   |
|                           | その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）  |        |     |             | 現在の事後対応型の修繕では本質的な問題は解決できないので、将来的な予算の縮減を実現するためにも、舗装の履歴や現状を把握し、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを回すマネジメントシステムを構築し、計画的な修繕を実施する必要がある。  |
| その他コメント                   | 2017年度から始まる「舗装診断士」の資格を職員にも取得させるなど、新しい考え方を取り入れ、子ども、高齢者、障がい者にとっても安心・安全に感じる道路維持管理を行うよう切に望む。 |        |     |             |   |